

2020 年 12 月 15 日

### 第 3 回 COVID-19 全国実態調査結果報告

謹啓 いつも日本放射線腫瘍学会（JASTRO）活動では大変お世話になっております。COVID-19 対策アドホック委員会では、本年 11 月 20 日より 12 月 4 日まで国内の放射線治療部門での診療への影響に関する第 3 回実態調査アンケートを行い、243 施設 253 人よりご回答頂きました。忙しい日常診療の中で、多大なご協力を頂き、まことにありがとうございました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。ここにその集計結果を、ご報告させていただきます。先生方の日々の診療にお役に立てれば幸いです。また本アンケートは経時的な変化が重要と考えるので、今後も定期的調査を繰り返してお願い致します。引き続き、ご協力をよろしくお願い致します。

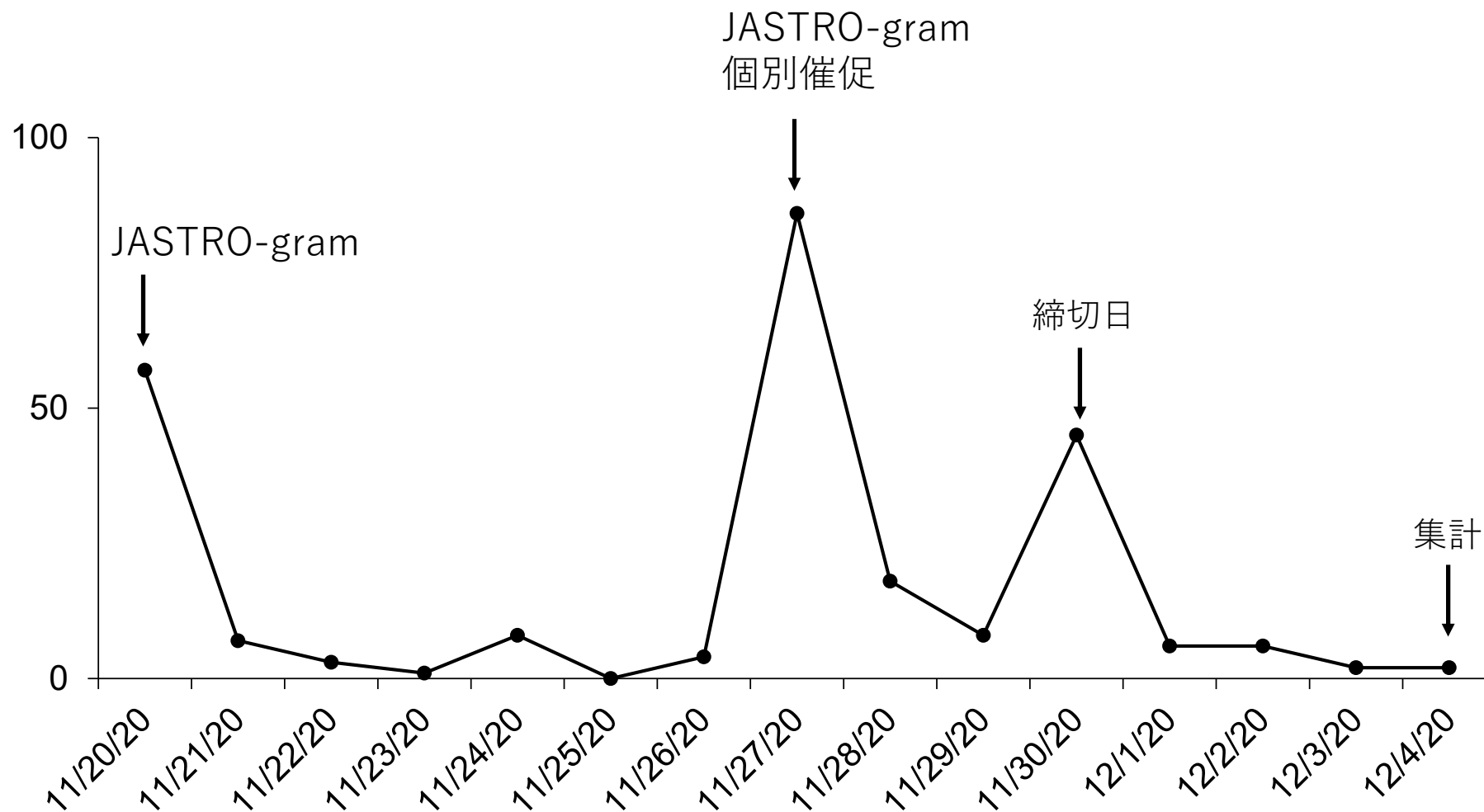
JASTRO 日本放射線腫瘍学会 COVID-19 対策アドホック委員会  
玉利慶介、永田靖、溝脇尚志、古平毅、大西洋、小川和彦、塩山善之、茂松直之、宇野隆

# 全国放射線治療部門における第3回実態調査 —COVID-19アドホック委員会—

- 2020/12/4正午の回答データで集計
- JASTROgram でのアナウンス 11/20, 11/27
- 570施設にメール連絡
- 総回答数253
- 回答施設数243

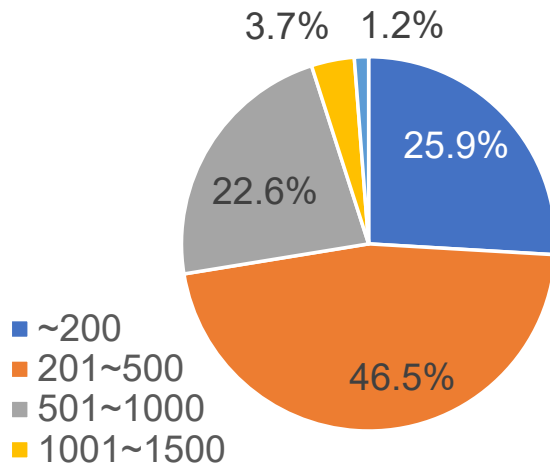
	第1回	第2回	第3回(今回)
時期	2020/5	2020/7	<b>2020/11</b>
回答数	566	261	<b>253</b>
回答施設数	545	239	<b>243</b>

# 1. 回答者数推移

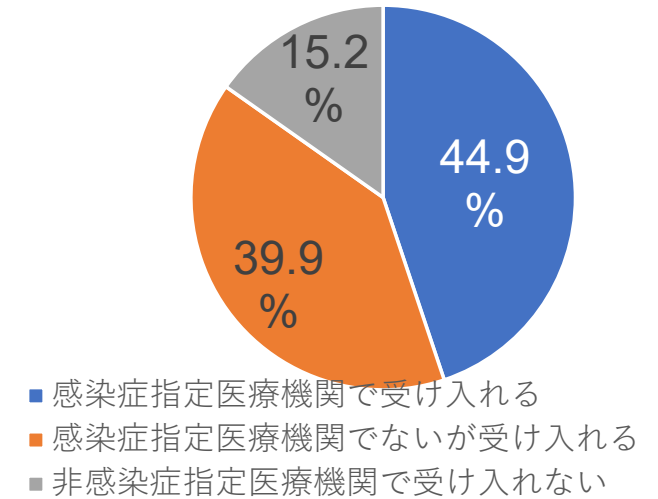
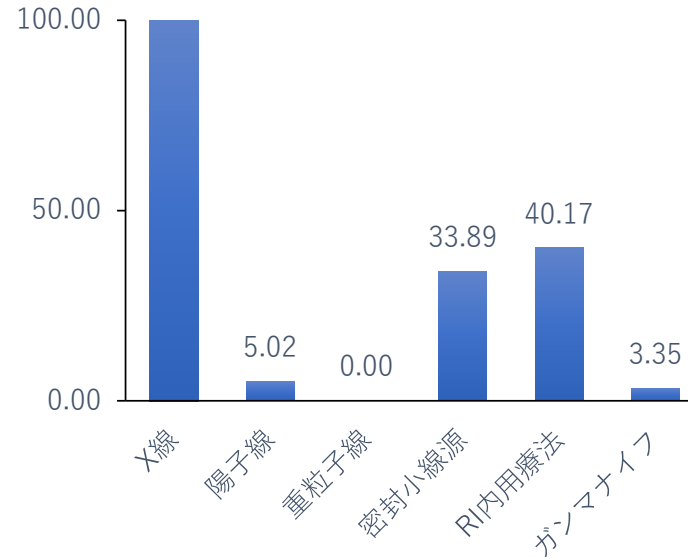


## 2. 回答施設の基本情報

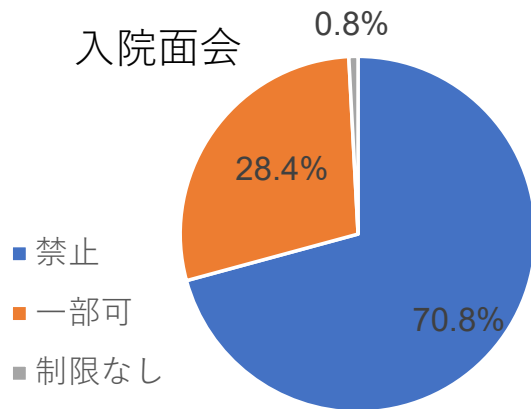
年間の症例数



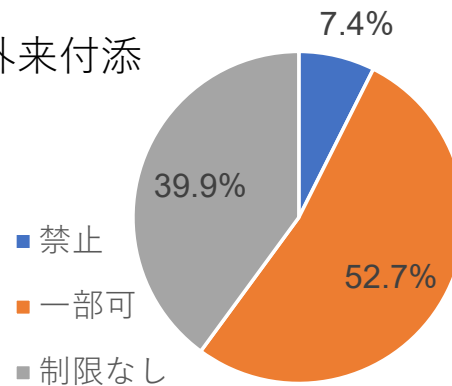
放射線治療の種類



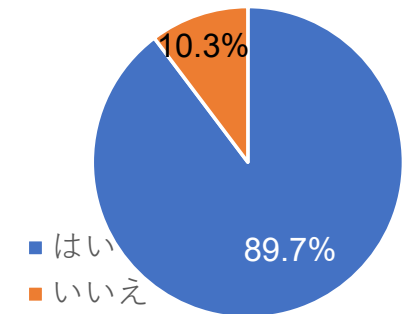
入院面会



外来付添

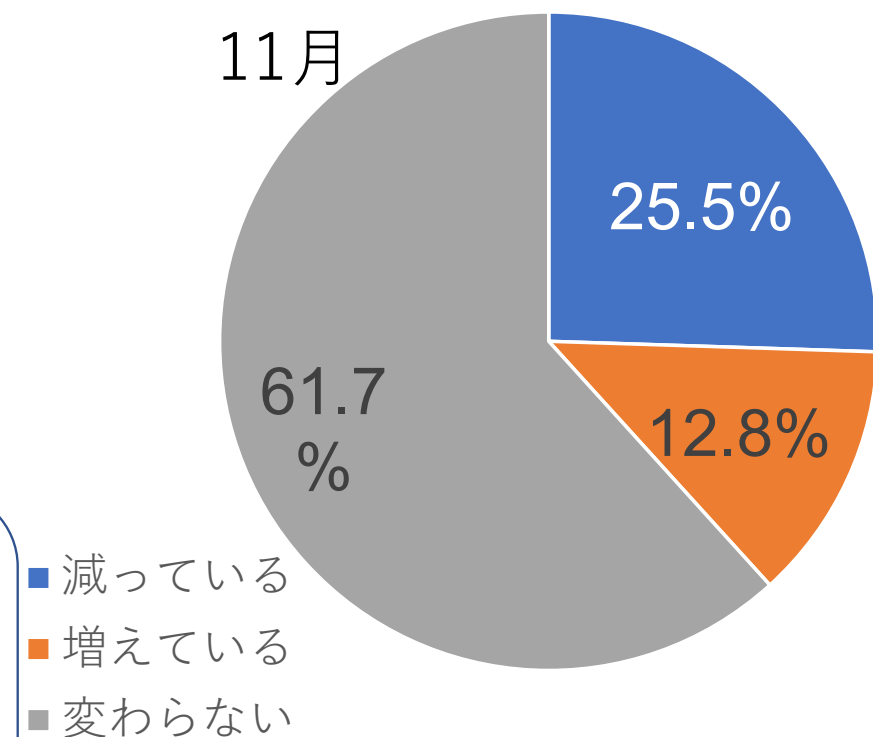
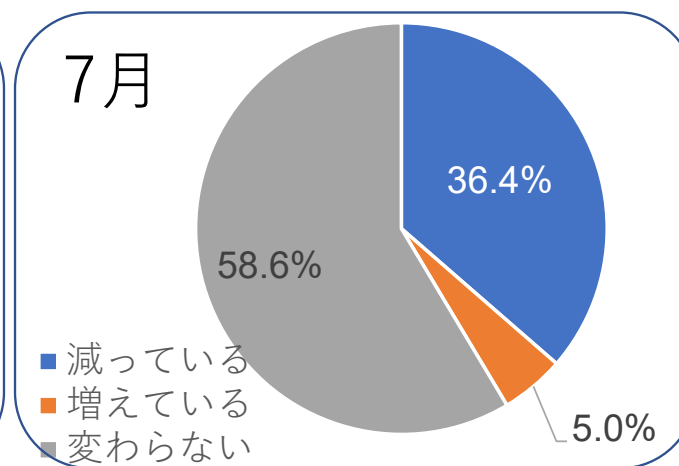
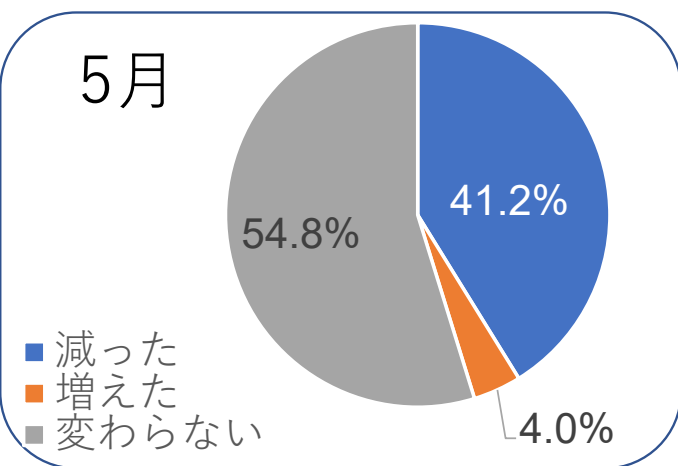


施設内にCOVID-19の相談できる専門家がいます



### 3. 例年11月と比較した 全国の放射線治療患者数の変化について

患者数が減少した施設は減少  
患者数が増加した施設は増加



## 4. 患者、スタッフのコロナ対策の推移

患者の対策	5月(%)	7月(%)	11月(%)
検温(自宅)	61.5	69.0	69.1
検温(病院)	64.4	64.4	72.4
マスク着用必須化	80.7	89.1	96.7
手指消毒徹底	80.2	87.4	93.4
待合で距離とる	90.1	92.9	96.3
COVID19患者との接触歴確認	59.6	68.2	71.6

スタッフ対策	5月(%)	7月(%)	11月(%)
検温(自宅)	78.9	82.4	84.8
検温(病院)	41.8	39.7	49.4
マスク着用必須化	98.7	99.2	99.2
手指消毒徹底	98.9	99.2	98.8
ゴーグルやガウンの着用	32.1	37.2	52.3
同僚との距離確保	69.0	71.1	77.8
食事を個別にとる	66.9	65.1	67.9
共用物の定期的消毒	90.3	92.1	92.6
治療部門内の換気	75.4	78.2	80.7

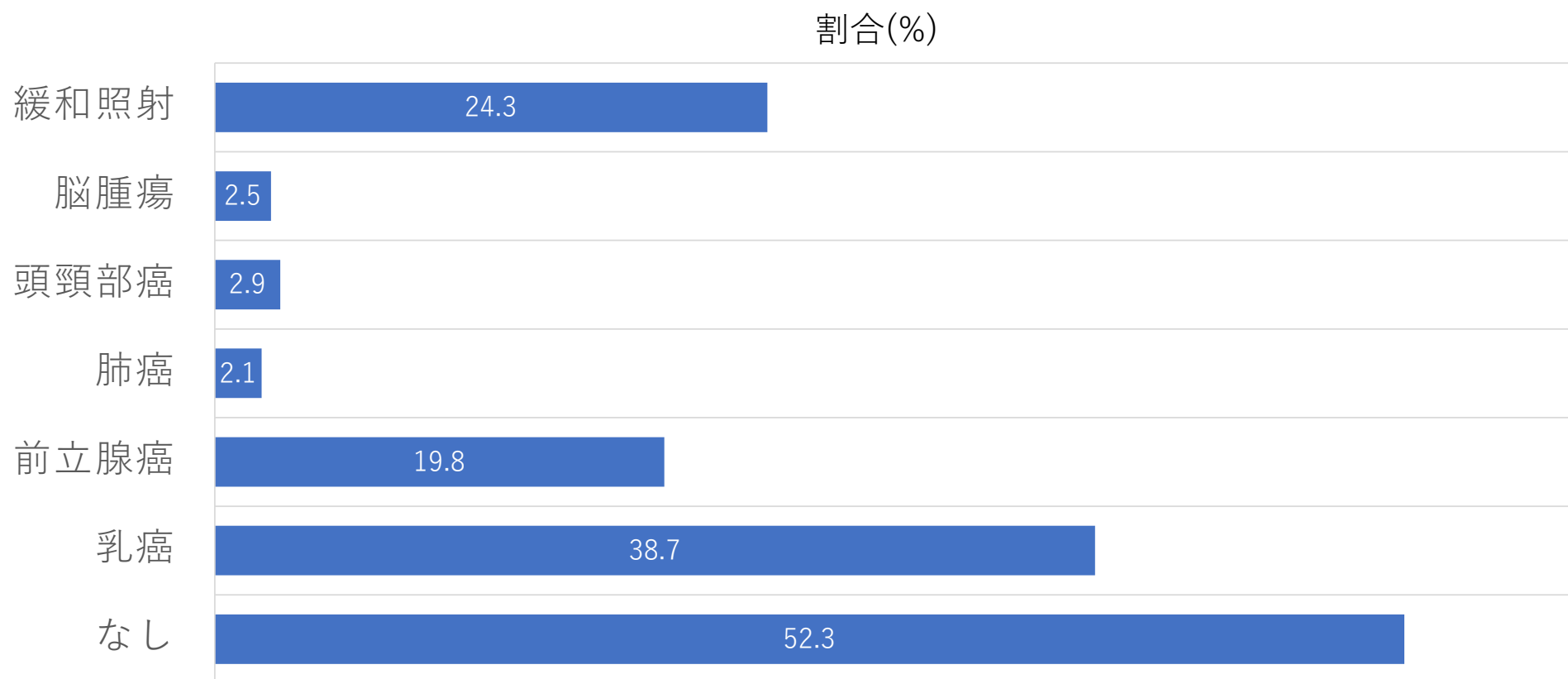
患者、スタッフへの対策はより徹底されている傾向が見られる。

## 5. 放射線治療部門における対策

	5月(%)	7月(%)	11月(%)
治療患者数を削減	16.9	5.9	2.5
治療患者数を今後削減予定	2.8	1.7	0.8
治療後経過観察間隔の延長	43.9	33.6	25.5
寡分割照射の積極的採用	32.3	34.7	38.9
外来入院患者の治療時間帯の区分	28.6	32.6	31.3
複数治療装置の集約化	2.8	2.9	3.3
部門内対策会議の実施および文書化	51.6	59.8	59.7
BCP（事業継続計画）の策定	23.3	30.1	34.6
医療スタッフの2チーム体制	12.1	8.4	7.4
カンファレンス規模縮小	55.2	45.2	40.7

治療患者数の制限は、緩和されている。経過観察期間の延長も緩和されている。寡分割照射は、より積極的に採用されている。

## 6. コロナ禍で寡分割照射を以前より積極的に採用している対象

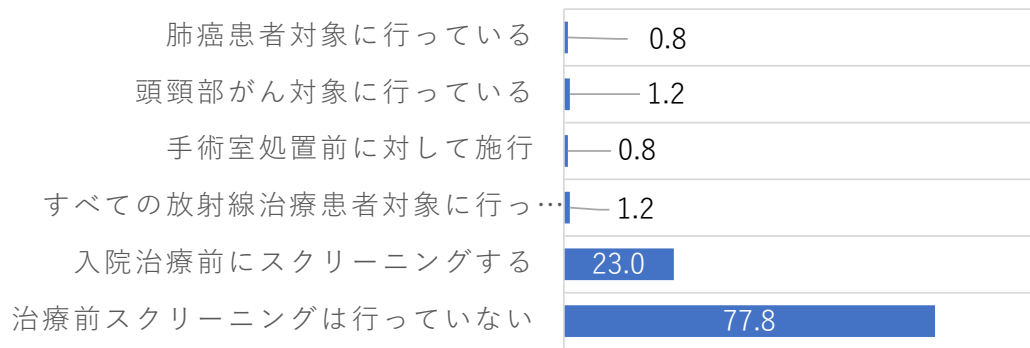




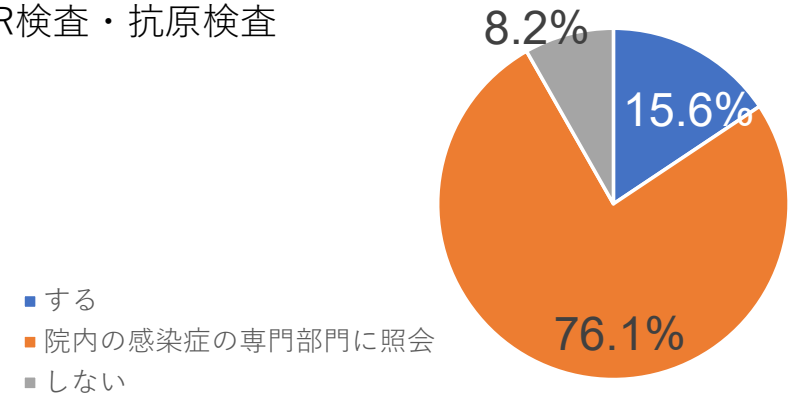
# 7. COVID-19検査について

## 治療前スクリーニングについて

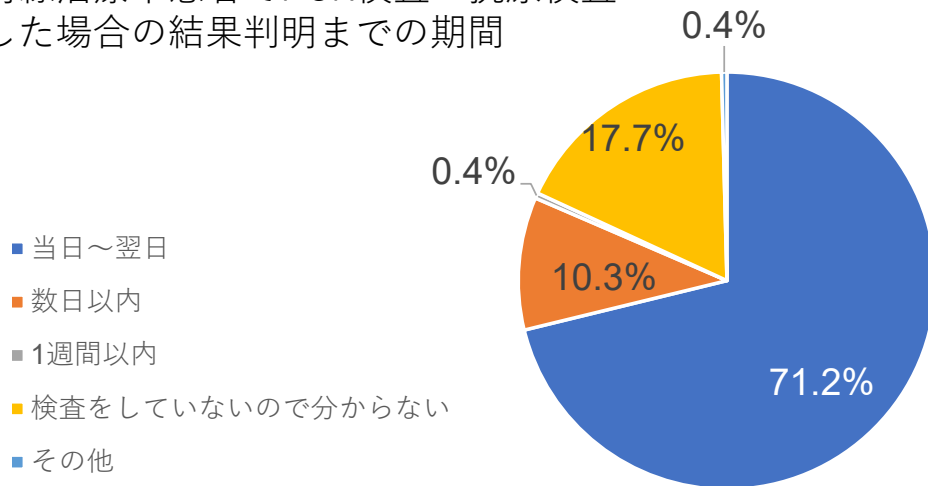
割合(%)



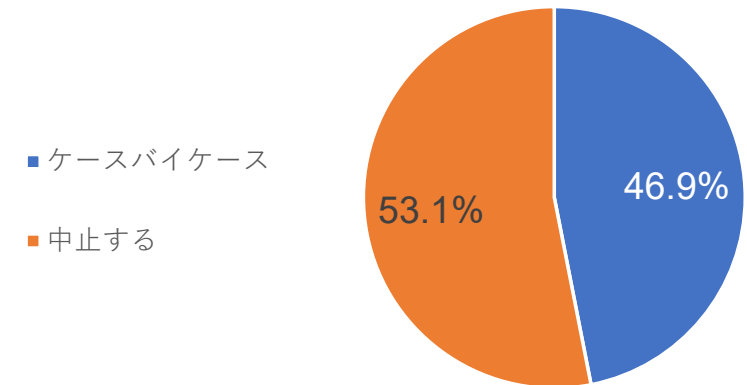
## 放射線治療中患者が発熱等を呈した時のPCR検査・抗原検査



## 放射線治療中患者でPCR検査・抗原検査をした場合の結果判明までの期間



## 治療中の患者さんがCOVID-19陽性と判明した場合に治療を中止しますか？



## 8. その他の新規追加質問事項

放射線治療開始の延期	割合
延期予定はない	97.9%
前立腺癌で現在も延期	1.6%
乳癌、前立腺、その他の癌でも延期	0.4%

治療装置に関連するCOVID-19の影響	割合
装置定期点検への影響がある	10.7%
装置故障修理への影響がある	7.4%
今後の装置購入予定への影響がある	18.5%

非常勤医師派遣への制限	割合
	8.2%

## 9. COVID-19患者発生状況

- 10月 2施設  
ともに治療中入院患者・病棟看護師で発生
- 11月 4施設  
治療中入院患者で発生  
治療中外来患者で発生  
病棟看護師・治療中入院患者で発生  
病棟看護師・治療中入院患者・新患紹介患者で発生
- 上記6施設の全てで、放射線業務停止はなかった
- 発生状況の詳細報告は上記施設中1施設から寄せられた。  
治療中入院患者が大部屋で同室患者から感染、殆ど治療の終了時点であったので、打ち切り終了とした、とのこと。

## 10. まとめ

- 2020年11月にCOVID-19の実態調査を行い243施設から回答を得た。
- 放射線治療患者数が減少している施設は、5月、7月に比べ減少していた。
- 患者・スタッフの感染対策は、以前と比較してより徹底されていた。
- 放射線治療患者数の制限や経過観察期間の延長は、以前より緩和されていた。
- 寡分割照射の採用施設がやや増加傾向し、主に乳癌・前立腺癌・緩和治療で採用されていた。
- 装置の点検・修理・導入に関するCOVID-19の影響が明らかとなった。
- 放射線治療前にCOVID-19スクリーニングを行う施設はごく一部であったが、入院患者のPCRスクリーニングは約20%の施設で実施されていた。
- 前回7月調査以降、新たに6施設で治療部門関連でCOVID-19が発生したが、治療休止への影響はなかった。